

平成29年度
事業報告書

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

公益財団法人 ノーマライゼーション住宅財団

平成29年度 事業報告書

【平成29年度の環境認識】

当財団は、平成元年10月設立後29年目を迎え公益移行後6年目が終了しました。

平成29年度の我が国経済をみると、アベノミクスの推進により、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかに回復している。海外経済が回復する下で、輸出や生産の持ち直しが続くとともに、個人消費や民間設備投資が持ち直すなど民需が改善し、経済の好循環が実現しつつある。また、物価の動向をみると、原油価格の上昇の影響等により、消費物価は前年比で上昇している。

北海道の経済状況をみると災害復旧関連に伴う公共投資による押し上げ効果に加えて、増勢が強まる設備投資や観光消費、そして、堅調な個人消費などを背景に、経済成長率が一段と高まる。

【基本方針】

当財団は、「すべての人が共に生きることがノーマル（正常）である」というノーマライゼーションの理念に基づき、高齢者や障がい者が安全で安心して暮らせる住生活環境の整備・向上を通して、すべての人が生きがいをもって生活できる社会づくりと社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

〈事業報告〉

I. 福祉住宅支援事業（公益目的事業1）

（1）助成金による福祉住宅建築支援

高齢者や障がい者が安心して快適に暮らすことのできる福祉住宅及び福祉小規模集合住宅（以下「福祉住宅」という）の向上・普及を目指す29年目の支援事業の取り組みを行いました。9月には札幌市社会福祉協議会1階フロアにて20日間ほど情報誌「ふれあい」の中から抜粋した物件を紹介「福祉住宅・福祉小規模住宅パネル展」を開催し来場された市民の皆さまに情報を公開いたしました。29年度の福祉住宅・福祉小規模集合住宅の建築助成として、新築及びリフォームした建築主を対象とした建築助成事業に新築が3件・リフォームが10件・福祉小規模集合住宅が2件の合計15件の応募申請がありました。菊地理事を審査委員長として、大阪理事、小西評議員の他、外部審査委員5名、計8名の有識者による審査委員会において厳正な審査の結果、予算総額300万円うち助成総額235万円（累計7,321万円）を助成金として給付を行いました。

(2) 情報誌「ふれあい」及び「ふれあい総集編Ⅱ」の刊行

情報誌「ふれあい」は、福祉住宅助成建築主へ直接取材をさせて頂き、日常生活の現状や介護面の参考となる事例集を数多く掲載、毎年継続し年1回の発行をしています。又、今年度は2010年以降の情報誌「ふれあい」の中から厳選し「ふれあい総集編Ⅱ」を作成発行いたしました。情報誌は賛助会員の皆様をはじめ、地方自治体や社会福祉協議会、北海道難病連、教育研究機関や福祉団体等の関係先に幅広く無料配布させて頂き、また、講演会での参考資料等に、あるいは病院・リハビリテーションの理学療法士の方々の資料とさせて頂きなど数多くの皆様に役立たせて頂きました。その他FMアップルの「バリアーフリートーク」の中で福祉住宅に関心がある視聴者の方に「リスナープレゼント」として贈呈いたしました。平成29年度も、3,000部を発行し幅広く利用いたしました。

Ⅱ. ノーマライゼーション啓発事業（公益目的事業2）

(1) 小中学生による「安全・快適アイデア」コンテストの実施

平成29年度で22回目となったコンテストは、高齢者や障がい者も家庭はもとより外出先においても、快適な環境で生活ができることを目的として、全道の小中学生を対象に募集したところ21校の応募、個人では3件の応募があり合計666名と数多の児童生徒さんからの応募がありました。今回は今まで応募がなかった学校の応募あり、いつも必ず応募してきた学校の応募がなくなった状況で、担当の先生による協力が特に必要と思われる。また、少子高齢化等により小中学校での統合又は廃校が毎年数十件あり、学校が少なくなっている状況です。

全道の小中学校には新学期が始まる時期にポスター・応募要項等届く様行い、学校長・新任担当の先生に協力をお願いしています。

平成29年度も審査委員長の大坂理事に、2日間かけて審査を行って頂き各審査員菊地理事、伊藤評議員の他、外部審査委員4名の計7名の有識者による審査委員会を実施し、厳正な審査の結果、58名の各賞を決定しました。

当財団ホームページや冊子「ウィズライフ 第47号」と北海道新聞での新聞記事等による掲載、札幌地下街「オーロラコーナー」での3日間の展示、及び応募学校には入賞者結果発表報告を行い、より多くの人に啓発事業を知って頂くことができました。

(2) 広報誌「ウィズライフ（共に生きる）」の刊行

ノーマライゼーションを推進している人の対談やインタビューの他、福祉機器や設備など役立つ情報を紹介する同誌を年2回、計6,000部（2回×3,000部）発行しました。当財団の冊子「ふれあい」と同様、賛助会員の皆様をはじめ、地方自治体や社会福祉協議会、北海道難病連、教育研究機関や福祉団体等の関係先に幅広く配布行い、また、講

演会での資料として参加者皆様数多くの方々に役立つことができました。

平成 29 年度の「ウィズライフ（共に生きる）第 46 号」では、テーマ「共に働き喜びを分かち合う」ハンディキャップのある人もない人も互いを尊重し、共に生き生きと働くそうした事業体を先進的に営む事例と代表者の紹介です。

一つ目は、「新得共働学舎」北海道十勝の新得町にある牛乳山の斜面のふもとに広がる農場で、自閉症、アスペルガー症候群、弱視、てんかん、総合失調症、ひきこもり、元ホームレス、元受刑者など、さまざまな生いたちや個性を持った人が酪農やチーズ作りなどにあこがれて農場に集った人たちと、共に暮らして働いています。

二つ目は、札幌市西区にある「株式会社特殊衣料」で頭部保護帽(アボネット)や自社ブランドによる福祉用具の企画・製造・販売など行い社員総数 180 人。60 歳以上の人・知的・聴覚・身体・発達などの面で障がいのある人、病気をもっている人も共に働いています。代表者の紹介記事は、「共働学舎新得農場」代表の宮嶋 望さんと福祉用具の開発・製造・販売に携わる「特殊衣料」代表取締役社長池田 啓子さんとの対談で「自分の居場所があって仲間がいるから働くことが楽しい！」と一緒に農場見学をしながらの対談です。

Ⅲ. 福祉事情事業

（福祉事情の視察）

当財団が設立以来毎年実施している福祉視察研修は、平成 29 年度は関西方面の福祉事情を視察計画しました。視察先は京都・大阪・奈良の 11 月 8 日～11 日の 4 日間で、各理事・評議員・賛助会員の皆様から参加者をつのり総勢 9 名の団員で実行いたしました。計画を進めるにあたり日程や各訪問先・施設側のスケジュールの事情もあり断られたところもありました。

今回、最初の施設見学先は、知的障がい者をケアする複数の施設を運営する「社会福祉法人京都ライフサポート協会」の A 型就労施設「レストラン庵樹」で昼食。午後から同法人入所施設を案内して頂き「横手通り 43 番地『庵』」に移動、回り竹林で静かな環境で 5～6 人用の完全分棟形式の入所施設を見学。

2 日目は京都ライトハウスを視察、施設の案内をして頂いた全盲の横田さんで触読（しょくどく）時計をなぞりながら時間内で説明を受けその後館内を案内して頂いた。

3 日目は京都から大阪に移動、社会福祉法人「わらしべ会」理事長の丸山様自ら施設の概要を説明して頂き資料室には貴重な資料や書籍が数多く保管されていた。

午後から奈良の社会福祉法人「いこま福祉会かざぐるま」に移動、お昼にお弁当を頂き女性施設長から通所施設「かざぐるま」の説明を受け館内の作業場を案内して頂く。作業場の 1 つ「アルミ缶つぶし」の現場や「さをり織り」の作業場を見学、実際に手に取って見せて頂き販売もされているとの事でした。

4 日目はレンタカーで伊丹空港へ移動し午後 2 時過ぎの飛行機で新千歳に向い全員無事

に帰札しました。

帰札後、参加者全員に報告レポートを書いて頂き研修報告書（平成 29 年度京都・大阪・奈良ノーマライゼーション福祉研修報告書）を作成し、視察訪問した施設や関係機関先等へ配布をいたしました。

今後も継続して福祉向上に役立つ情報の収集と提供を行っていきます。

IV. 拠出金・協賛金・セミナー事業

（福祉関連事業への取り組み）

諸団体と共に社会福祉に取り組む一環として、例年同様、平成 29 年度は「日本赤十字社へ活動資金の寄付協力」、「国境なき医師団」、「北海道難病連への募金」、「北海道盲導犬協会に支援寄付」等々数多くの支援継続を行いました。

また、毎年道内各地で行われている北海道新聞社主催の「マイホーム教室」または、他セミナーの後援団体に参考資料として冊子を提供いたしました。

「マイホーム教室」のセミナーでは、今後の福祉住宅や住環境のあり方について川本理事に講演して頂き、安全、安心、快適な生活について等、これからの住まい造りなどのお話して頂き、多くの皆様に役立つことができました。

V. その他

福祉住宅支援事業・ノーマライゼーション啓発事業を推進するため、公共の場所でのポスターの掲示や一般紙、地方紙、業界紙による紹介記事の掲載に努めるとともに、コミュニティラジオ「FM アップル」に出演し「ノーマライゼーション住宅財団の事業について」紹介しております。

VI. 賛助会員及び寄付について

【平成 29 年度 賛助会員状況】

*平成 30 年 3 月末日現在　[個人会員　146 名・法人会員　57 社　計 203 名]

《 理事会 》

* 臨時理事会の書面決議「評議員会の招集の決定」

評議員会の決議があったものとするとなされた事項の内容

平成 29 年度公益財団法人ノーマライゼーション住宅財団評議員会の招集の決定

(1) 評議員会開催の日時及び場所

評議員会を書面決議にて開催する。

(2) 議題、議案

第 1 号 議題：評議員の選任

議案：候補者 瀬川 誠氏を推薦する。

理事会の決議があったものとみなした日

平成 29 年 4 月 18 日（火曜日）

* 臨時理事会の書面決議「決議の書略により代表理事等を選定」

理事会の決議があったものとするとなされた事項の内容

(1) 土屋 公三を代表理事たる理事長に選定する。

(2) 土屋 昌三を代表理事たる副理事長に選定する。

理事会の決議があったものみなされた事項の提案者

理事長 土屋 公三

理事会の決議があったものとみなした日

平成 29 年 6 月 15 日（木曜日）

* 第 1 回 理事会

1、日 時： 平成 29 年 5 月 9 日(火曜日) 午後 1 時から

2、場 所： ホテル札幌ガーデンパレス 4 階 高砂

札幌市中央区北 1 条西 6 丁目

3、決議事項 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告の承認について

第 2 号議案 平成 28 年度決算報告及び監査報告の承認について

4、報告事項 代表理事・副理事長の職務の執行の状況の報告

***臨時理事会の書面決議「評議員会の招集の決定」**

評議員会の決議があったものとするとなされた事項の内容

平成 29 年度公益財団法人ノーマライゼーション住宅財団評議員会の招集の決定

(1) 評議員会開催の日時及び場所

日時：平成 30 年 3 月 2 日（金）午後 1 時から

会場：ホテル札幌ガーデンパレス 4 階 高砂の間

札幌市中央区北 1 条西 6 丁目

(2) 議案

第 1 号議案：平成 29 年度収支補正予算

第 2 号議案：平成 30 年度事業計画及び収支予算

(3) 報告事項

1、理事長・副理事長の職務の執行の状況の報告

理事会の決議があったものとなした日

平成 30 年 2 月 9 日（金曜日）

***第 2 回 理事会**

1、日 時 平成 30 年 3 月 2 日(金曜日)午前 11 時から

2、場 所 ホテル札幌ガーデンパレス 4 階 高砂

札幌市中央区北 1 条西 6 丁目

3、議 案

第 1 号議案 『平成 29 年度収支補正予算』の件

第 2 号議案 『平成 30 年度事業計画及び収支予算』の件

第 3 号議案 『評議員会の招集』の件

4、報告事項

1、理事長・副理事長の職務の執行の状況の報告

2、第 22 回小中学生による「安全・快適アイデア」コンテスト結果報告

3、平成 29 年度「福祉住宅建築助成支援事業」結果報告

《 評議員会 》

***臨時評議員会の書面決議「評議員会の招集の決定」**

評議員会の決議があったものとするとなされた事項の内容

平成 29 年度公益財団法人ノーマライゼーション住宅財団評議員会の招集の決定

(1) 評議員会開催の日時及び場所

評議員会を書面決議にて開催する。

(2) 議題、議案

第1号 議題：評議員の選任

議案：候補者 瀬川 誠氏を推薦する。

理事会の決議があったものとみなした日

平成29年4月18日（火曜日）

***第1回 評議員会**

1、日時 平成29年6月6日(月曜日) 午後1時から

2、場所 ホテル札幌ガーデンパレス 4階 高砂
札幌市中央区北1条西6丁目

3、決議事項

第1号議案『平成28年度決算報告及び監査報告』について

第2号議案『役員理事12名の任期満了に伴う選任』について

4、報告事項

1、『平成28年度事業報告』の件

***第2回 評議員会**

1、日時 平成30年3月2日(金曜日) 午後1時から

2、場所 ホテル札幌ガーデンパレス 4階 高砂
札幌市中央区北1条西6丁目

3、決議事項

第1号議案 『議長及び議事録署名人の選出』の件

第2号議案 『平成29年度 収支補正予算』の件

第3号議案 『平成30年度 事業計画及び収支予算』の件

4、報告事項

1、理事長・副理事長の職務の執行の状況報告

2、第22回小中学生による「安全・快適アイデア」コンテスト結果報告

3、平成29年度『福祉住宅建築助成支援事業』結果報告

以上